

# 2025年とうかい文芸 年間賞決まる

とうかい文芸の2025年の年間賞が決まった。受賞したのは短歌が渋谷明子さん(91)、俳句が平田秀さん(82)、川柳が水谷裕子さん(63)。3人の喜びの声と、選者の評を紹介する。

## 投稿 老後の生活に色

渋谷明子さん



驚いており  
ます。数年  
前より自己  
流で詠みは

じめたので自信はなく、御紙の欄に投稿する楽しみに

つられた老後の生活の色どりです。ありがとうござい  
ます。

選者・大辻隆弘さん

観光気分のままにアウ  
シュビッツ収容所の写真

を撮る同行者。そのなか  
で眼底に惨劇の歴史を焼  
きつけようとする強い  
意志。受賞された渋谷さ  
んの歌には覚醒した意識  
がある。一年を通して深

い認識の歌を提出した作  
者。  
選者・大塚寅彦さん  
2回の月間賞受賞者は  
2人だったが、両選者に選  
ばれたのは渋谷さんだっ  
た。私の方にあつた旅行  
詠だが、単なる観光に終  
わらない旅というものを  
改めて考えさせる一首だ  
った。

## 短歌

友は皆カメラ構えたアウシュビッツ  
ただ目を閉ざさずいたわたしなり

## 俳句

寒鴉鳴きて心の闇動く

## コロナを機に始める

平田秀さん



た私は俳句  
を始め、今  
日まで継続  
できたこと

コロナ禍に趣味がなくなっ  
ています。これからは  
俳句を楽しみながら、充  
たされた生活をしていきたい  
です。

声によって心の闇を指摘  
され、その闇が動き出し  
た。それは本人にとって  
非常な驚きとなった。今  
日より真剣に心の闇に向  
きあわねばと思うのであ  
る。

選者・永井江美子さん  
寒中に鳴く鴉の声を聞  
いたことにより、心の中  
に在った闇の部分が少し  
動いたようだと感じた、  
非常に繊細な俳句である。  
単なる鴉ではなく寒鴉で  
あるところに作者のモノに  
寄せる深い眼差しがあり、  
豊かな詩心を感じた一句で  
ある。

の最善策なのだ。  
選者・松代天鬼さん  
スーパリーの値引き商品を  
夕方になると見かけるとい  
う。夕焼けに照らされた冬  
景色かと思ったら値引きシ  
ールとは、主婦らしく、ま  
た意表を突いている。高騰  
する食材の棚から安くて良  
いものを探す真剣な買い物  
が想像される。

## 参加することに意義

水谷裕子さん



参加することに意義があ  
ると自分に  
言い聞かせ  
つつ、見切  
り発車の投

句もありました。それでも  
思いがけず評価をいただ  
く夕焼けがここにもあっ

き、続けてよかったと感じ  
ています。ありがとうござ  
います。

た。それも忙しい買い物カ  
ゴの中にチョココンと座って  
いるのである。主婦にとっ  
て物価高は敵であり、血ま  
なこになって安い味方を探  
し出そうとする。これはそ

の最善策なのだ。  
選者・松代天鬼さん  
スーパリーの値引き商品を  
夕方になると見かけるとい  
う。夕焼けに照らされた冬  
景色かと思ったら値引きシ  
ールとは、主婦らしく、ま  
た意表を突いている。高騰  
する食材の棚から安くて良  
いものを探す真剣な買い物  
が想像される。

## 川柳

夕焼けが値引きシールを照らし出す

の最善策なのだ。  
選者・松代天鬼さん  
スーパリーの値引き商品を  
夕方になると見かけるとい  
う。夕焼けに照らされた冬  
景色かと思ったら値引きシ  
ールとは、主婦らしく、ま  
た意表を突いている。高騰  
する食材の棚から安くて良  
いものを探す真剣な買い物  
が想像される。